

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和4年度第2回加東市児童館運営委員会
開催日時	令和4年11月15日(火) 午後1時00分から午後2時30分まで
開催場所	加東市役所 庁舎4階 402会議室
<p>議長の氏名 (委員長：森田 啓之)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>【出席委員】3人 森田 啓之 委員長、田中 あずさ 委員、森田 真加 委員</p> <p>【欠席委員】2人 西田 千枝子 副委員長、繁本 梨恵 委員</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>無し</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>加東市教育委員会          こども教育課課長 井澤 彰子          同副課長 稲岡 めぐみ          同係長 丸山 久美子          同主事 西村 光          加東市児童館厚生員 依藤 洋子、藤川 壽子、藤尾 純子</p>	
<p>○議事及び会議結果</p> <p>1 議題(議事)</p> <p>(1) 委員長、副委員長の選出について</p> <p>(2) 令和4年度児童館の運営及び事業の中間報告について</p> <p>2 会議結果</p> <p>(1) 委員長に森田啓之委員、副委員長に西田千枝子委員を選出しました。</p> <p>(2) 事務局が資料①から⑦に基づいて説明し、各委員による審議を行いました。</p>	

○会議の経過

【開会】

- ・開会（事務局）
- ・資料確認

【議事（1）】委員長・副委員長の選出について

- ・下記のとおり、委員長、副委員長を選出しました。

委員長 森田啓之委員

副委員長 西田千枝子委員

【議事（2）】令和4年度児童館の運営及び事業の中間報告について

- ・事務局が資料に基づき説明した後、委員による審議を行いました。

（事務局）

（資料①-1、①-2）

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2、3年度に比べ、中間時点で昨年度の来館者数を超過しており、利用者が増加しています。

（資料②）

登録者数の減少が課題となっています。

（資料③）

加東子育てねっこの利用状況・登録者数

（資料④～⑦）中間時点での運営方針や具体的事業について報告しました。

（委員）

いろんな活動をしていてすごいなというのが第一印象で、すごく活発だなということが印象に残りました。先ほど10月15日開催の児童館まつりに高校生ボランティアさんの参加がなかったという話がありましたが、自分の経験から言うと、私は社高校出身でボランティアの部活に入っていたのですが、そこの部活に声をかけたら多分喜んで参加してくれそうな気がします。

（委員）

私は、まだこども園に行っていない子どもが 2 人いて、子育てグループ活動に 2 人も登録して毎月参加しています。上の子が 2 歳児でもう 3 歳になっていますが、そういう子の参加人数が少ないのは児童館の活動では少し退屈する部分があるのかなと思います。こども園の一時預かりに行っている子とかだと、同じ学年の子と遊ぶ機会があるので、児童館のひろば活動とかではちょっと退屈がちとの声を聞きました。対象者が少ない中でも、何か楽しめるような催しがあればいいなと思いました。

(事務局)

ベビー対象の講座は多いのですが、1 歳からの講座は毎月どこかで 1 回はしていますが、少ないのが現状です。

(委員長)

ちょうど 1、2、3 歳で段々とできることが増え、色々なアクティブなこともしたいですよ。今後は安全のことも含めて、細かいところまでぜひ要望を教えていただけたらと思います。

私からは、資料 1-1 について、この令和 2~4 年はコロナ渦ということで、前年度との比較は良くなると決まっているので、コロナ前の令和元年度と令和 4 年度を比較すると、こどもの人口が多いこともあって、社地区の場合はこどもの減少率も大きいと感じました。それと 6-1-2 のマンカラ大会はもう第 10 回なので、10 年間近く工夫をしながらされていることだろうと思います。

表の中には参加者は少なかったと言いつつ、参加人数が上の表は幼児 12 人になっていますが、表の中は一部は 5 人申し込みで総当たりにしなかつたといけなかつたと記載があります。一方で小学生もそこそこ人数は居ますが、3 部の方は参加者で大人も 20 人と上に記載はありますが、小中は参加者が 3 人だったとの記載は、カウントの仕方が違うのですか。

(事務局)

一緒に来られたご兄弟、ご両親とかの人数も全部入れると上の参加人数になり、実際にエントリー、出場された人数とは違っていています。

(委員長)

そう考えると少し寂しかったというのはよくわかりますね。非常に頭を使ったりしな

がら年齢関係なく遊べそうなので、それを位置づけていきたいというのは分かります。あと、表の 16 時 10 分のボランティアの声が気になったというのは、意外と沈黙で進む競技なのか。時間制限があるのでその時間の中でいろいろやるというのは将棋みたいですね。他の委員の方で何かありますか。

(委員)

2 歳児のサークルが今三館合同になって、個人的にやしろこどものいえによく行くのですが、滝野児童館と東条鯉こいランドはあまり行くことがなくて、その三館で他の館へ行く際、個人的に人の名前を覚えるのが苦手なので、児童館の先生たちに名札を付けてもらえたら嬉しいなと思います。

(委員)

子どもを遊ばせるだけでなく、私が先生方と話したいから児童館に行っているのですが、名札を付けられていない方が多いので、お名前が分かりません。

(委員長)

事務的な名札ではなく、実習生が幼稚園と保育園のときは必ずお手製のひらがなで書いた布製の名札のようなものを使用するような、お母さんの方からしゃべりたいなって思うような工夫を検討していただければと思います。

次に、この 4 年度の間接報告を踏まえて、現在の、来年度以降の方向性や事業の中身について意見交換ができたらと思っております。

(事務局)

令和 5 年度に関する方針として、利用者支援事業という大きなものが昨年度から始まって、それが一つ大きな柱と考えています。もう一つ、利用者を拡大するために、小学生対象の教室や、お腹の中から子育ては始まっているという考えのもとに妊婦さんと出産後数か月以内のお母さん対象にフェアリー講座というのを行っています。去年から始めていて、参加人数が少ないところもありますが、少しずつ定着してきたのかなと思います。これについては、保健センターから保健師さんや助産師さんに来ていただいたり、少人数ですので 1 人 1 人の疑問点や質問を聞いてもらっています。保健師さんの話を聞いていて、私が初めて知るようなこともあったので、細かいことですが、産後ケアについても加東市はちゃんとやっているということをもっと知ってもらいたいです。

利用者支援事業を行っていますが、「子育て相談」として児童館に来て相談をするお母さんは少なく、普段のお話の中から相談に繋がる人が多いですね。お母さんとお話をする時間ってすごく大事で、私達は大切にしたいです。お母さんとの時間をもっと大事にしていけないといけないということを実感しています。

(事務局)

私は滝野児童館にいるので、その様子から小学生の利用が増えたらいいなと思いますが、なかなか苦戦しているところです。長期休みの講座を1回増やそうとやってみましたが、何かすれば来てくれる子どもたちはいるので、またそういった機会を夏休みや春休みに続けていこうと思っているところです。

最近お父さんの参加が大幅に増え、先週の土曜日はお母さんが1人もいなくて、お父さんがおむつを替えて、お父さん同士が子育ての話をされていて、とてもいいなと思って聞いていました。時代の流れとも思いますが、家族で参加していただきやすいような児童館の雰囲気を作りたいと感じます。

先ほど、職員と話したいと言ってくださって嬉しかったのですが、本当にそれが一番だと思っています。なかなかお母さんとお話しする、その時間の確保が難しくなっていますが、時間の確保を工夫しながら努めていけないといけません。

(事務局)

東条鯉こいランドの利用者は南山地区の方が多くなってきていまして、核家族の方、遠方から引っ越してこられた方も多くなってきて、孤立している方がおられるように思っています。できるだけ東条鯉こいランドの認知度も広げていき、そこにみんなが集まる居場所となって情報交換できる場所になるように職員がこれからもきめ細やかな対応をしながら、お母さんたちといっぱいお話ししたり、子どもたちと一緒に遊びながら一緒に支援出来たらと思います。

(委員長)

南山地域はまさにたくさんの新しいご家族が来られているところなので、ぜひ力を入れていただけたらいいかなと思います。既存のところはリニューアルをしたり、ぜひお願いしたいです。

(委員)

加東市は結構外国籍の家庭が多いです。実際社協にも子どもを連れて相談に来られるベトナム籍の方がすごく増えています。保育園とかに入っていない家庭も多くて、お母さんは子どもが居るから働けなくて孤立していたり、経済的に困窮しているケースもよく相談を聞いています。保育園の申込方法も分からないとかいう話があったので、一度申込について行かせてもらって、支援をさせてもらっていたのですが、そういう世帯が児童館とかに行けたら孤立感は少し減ると思いました。何か外国籍の方へのアプローチをされていますか。

(事務局)

自転車で来られる方はいらっしゃいます。来館者カードにお名前を書く、体温を計るといった事務的なことが通じるよう、通訳さんに簡単な説明書を作ってもらい置いています。外国人の方がもっと集まれるようなアプローチ等は今からという段階です。

(委員)

職員さんはベトナム籍のお母さんが来られた時どのようにコミュニケーションをとっていますか。

(事務局)

沢部団地からやしろこどものいえによく来られる家族があつて、その人たちは職員が言っていることは大体わかってもらえて、何とか通じます。使ったおもちゃはここに置いてくださいねとか、ここは記入してくださいとかいうのは伝わります。全く何かわからない場合もありますが、回数を重ねると段々わかってもらえたかなと思います。コロナ前は工業団地周辺にいろんな国の人たちが住まれていて、児童館によく来られていました。

(事務局)

滝野児童館にもベトナム籍の方が時々来られます。どちらか 1 人が日本語がわかるという感じなので、私達が困ったってことはありません。日本語が分からない方が来られた時は、身振り手振りでなんとか伝えています。

(事務局)

東条鯉こいランドも国際交流協会の日本語教室を利用されているお母さんなどがいらっしゃいます。ある程度日本語が分かっている方が、親子で遊びに来られて、またボラ

ンティアの人が東条鯉こいランドを紹介し一緒に連れてきてくださったこともあって、それから定期的に遊びに来てくださる親子もいらっしゃいました。

(委員長)

これも児童館の問題だけではなく、福祉全体として、先ほどの移動手段等の難しい問題もありますが、ぜひ社会福祉協議会の方からも困っている方のニーズを吸い上げてもらって、児童館の運営の方に入れていただけたらと思います。お願いします。コロナと付き合いながら、少しでもコロナ前に戻るようにまた運営の方そして企画の方よろしくお願いたします。

【閉会】

・事務局より連絡

○当日資料

- (1)加東市児童館来館者数 資料①-1
- (2)加東市児童館来館者数 資料①-2
- (3)令和4年度加東市児童館主要事業報告 資料②
- (4)令和4年度「かとう子育てねっと」活用状況 資料③
- (5)令和4年度児童館運営方針 資料④
- (6)令和4年度児童館行事予定表資料⑤
- (7)マンカラ大会ポスター 資料⑥-1
- (8)マンカラ大会実施報告 資料⑥-2
- (9)児童館まつりポスター 資料⑦-1
- (10)児童館まつり実施報告 資料⑦-2

令和5年1月 //日

委員長 森田啓之